

赤松歴史まつり



# 上郡町

第6次

# 総合計画

[概要版]

上郡町



## ● 上郡町のこれからの10年を描く「第6次総合計画」 （「上郡町第3期総合戦略」を含む）ができました

私たちの暮らしを取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、デジタル化の進展などにより大きく変化しています。

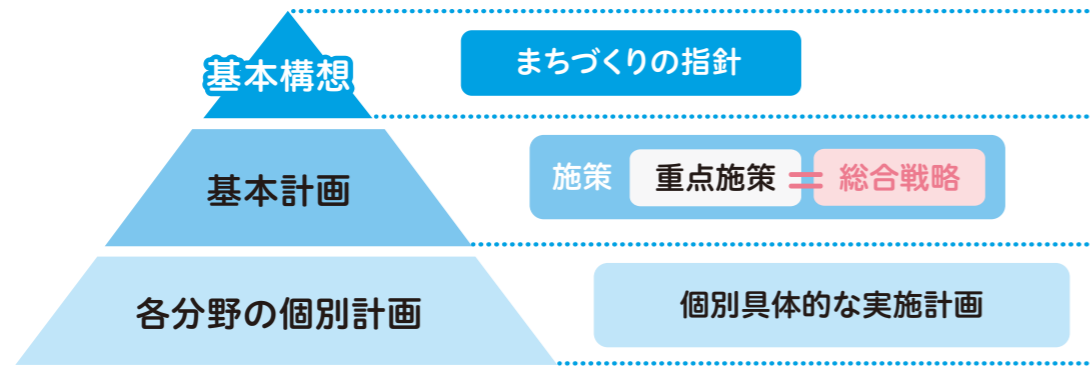
上郡町では、こうした時代の流れを踏まえ、誰もが安心して暮らせる生活環境の充実と、若者や女性に選ばれる地域づくりを推進し、持続可能なまちを住民の皆様と共に築くことができるよう、町の最上位計画である「第6次総合計画」を策定しました。

この概要版では、これからの上郡町が目指す姿と、その実現に向けた主な取組をご紹介します。

## ● 計画の位置づけと期間

総合計画は、本町の全ての計画の指針となる最上位計画です。また、地方創生の観点から実効性の高い計画とされる総合戦略との関係が深いことから、本計画の基本計画に総合戦略を包含して策定します。

### ◆計画の位置づけ◆



### ◆計画の期間◆

和暦(年度)	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17
西暦(年度)	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
総合計画	基本構想(10年間)									
	前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)				
総合戦略	第3期総合戦略(5年間)					第4期総合戦略(5年間)				

## ● 基本構想

### (1) 町の将来像



人と自然が調和し、  
すべての世代が安心して暮らせるまち



### (2) 本計画の目標人口

【本町の目標人口】(令和17(2035)年時点)

**総人口 10,500人程度**

※国立社会保障・人口問題研究所が公表している同年時点の予想人口は10,061人です。

## ● まちづくりに関する住民意識

### ◎第1回ワークショップで出された町の魅力と課題

町の魅力	
◇豊かな自然(山・川・里山・星空、千種川や清らかな水、多様な生態系)	
◇歴史・文化資源(赤松円心、大鳥圭介、白旗城跡、古代山陽道野磨駅家跡、伝統芸能)	
◇温かい住民性、移住者の受け入れ、地域活動やボランティアが活発	
◇特産品(ぶどう・モリンガ・米・鮎)、新鮮で安価な食材、有機農業	
◇静かで安全な生活圏、治安の良さ、災害の少なさ	
◇教育・子育て環境(高等教育機関まで所在していることや医療費助成等の支援)	
町の課題	
◆若者・こどもの遊び場の不足	◆宿泊・観光環境の整備
◆公共交通の利便性の確保	◆医療機関へのアクセスの確保
◆地域資源の未活用と情報発信力の不足	◆少子高齢化による担い手不足
◆空き家・空き店舗の活用	◆耕作放棄地の活用
◆自然環境の保全と維持管理	◆雇用、就業機会
◆地場産業の育成	

### ◎第1回及び第2回のワークショップを通じて出された意見をまとめました。

- ◆少子高齢化による世代間や地域間のつながりの希薄化は、防災、福祉、子育て等に影響するため、重要な課題としている。
- ◆若者や子育て世代の定着を含む少子化対策が必要であり、遊び場や住環境、教育機会、雇用の充実も求めている。
- ◆自然・歴史・文化・特産品等の既存の魅力を生かし、積極的な情報発信で観光や移住促進につなげる必要がある。
- ◆公共交通の不便さを解消するため、コミュニティバス増便や自動運転、ライドシェア導入等により、誰もが移動しやすい町を望んでいる。
- ◆特産品の育成や新規就農者支援に加え、宿泊交流施設や体験施設を通じた観光振興等、農業が町の活性化の柱となる可能性を示している。
- ◆行政サービスの効率化、産業・経済活動、情報発信まで幅広くデジタル技術が導入されることで、新しい働き方や地域ブランド強化等への効果も見込んでいる。



# ● 計画の施策展開の考え方

町の将来像を中心に、分野横断の連携で施策を展開します。各施策は相互に関連し、波及効果を生みながら、町全体の質を高めていきます。



**基本方針 1**  
**幸せで笑顔あふれるまちづくり**

- ① 子育て支援
- ② こども・若者支援
- ③ 高齢者福祉
- ④ 障害者福祉
- ⑤ 地域福祉
- ⑥ 健康・医療

また、子育て支援の充実、保護者同士や地域との関わりを広げ、地域コミュニティの活性化を促すことにつながります。そして、地域コミュニティの向上は、防災力や健康・福祉面の活動を高めることにもつながるため、子育て支援の効果は住環境の向上に波及します。



**基本方針 2**  
**学びと歴史・文化を未来へつなぐまちづくり**

- ① 学校教育
- ② 生涯学習・スポーツ
- ③ 歴史・文化
- ④ 人権・男女共同参画・多文化共生

例えば、町の歴史・文化を大切にすることは、町の教育力を高めるとともに地域資源を生かした取組にもつながり、交流や観光面にもその効果は波及し、地域経済の活性化や定住促進にも寄与します。



**基本方針 3**  
**にぎわいと活力あるまちづくり**

- ① 農林業
- ② 商工業
- ③ 交流・観光



## 町の将来像

人と自然が調和し、  
 すべての世代が安心して暮らせるまち

**基本方針 5**  
**町民と共に創る持続可能なまちづくり**



- ① 地域コミュニティ
- ② 情報発信、移住・定住
- ③ 行政運営
- ④ 財政運営
- ⑤ 広域行政



**基本方針 4**  
**安全・安心で、自然と共生し、豊かに暮らせるまちづくり**

こうした相互のつながりを踏まえ、従来の縦割りの役割分担を超え、町民・地域・関係団体・行政がともに学び合い、支え合い、つくり合う「共創」の体制で施策を進めます。

- ① 道路・交通
- ② 防災・消防
- ③ 生活基盤
- ④ 上水道・下水道
- ⑤ 生活安全
- ⑥ 自然・環境衛生



## ● 総合計画の5つの柱をライフ ステージ別に説明します

### 子ども・子育て世帯

#### 子どもが若者へ、そして自立したおとなへと成長できるよう、こども・若者や子育て当事者を支える施策を推進

##### ■ こどもを安心して産み育てる環境づくり

妊娠期から子育て期まで様々なニーズに切れ目なく、ワンストップで総合的な相談支援を行います。  
経済的支援を行い子育て家庭を支えることで、こどもの健やかな成長につなげます。

##### ■ 就学前教育・保育の推進

認定こども園において通常保育に加え、預かり保育、延長保育、病後児保育を実施することで、共働き家庭の教育・保育ニーズに応えます。

##### ■ 自ら学び探究する教育の展開

未来を担うこどもたちに「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」を身につけ、変化の激しい社会を生き抜くための「生きる力」を育成できるよう取り組みます。

探究心を持ちながら他者と協働して課題に取り組み、目標や夢に向かって努力する心を磨く学習を推進します。  
ふるさとの良さを知り、ふるさとの課題について理解を深め、地域の一員として自覚を高める学習を推進します。



放課後子ども教室・学童クラブの連携イベント

### シニア世代

#### 高齢になっても安心して暮らせる地域社会を目指し、地域包括ケアシステムの深化に向けた取組を推進

##### ■ 介護予防の推進

高齢者の保健事業と介護予防を一体的に取り組むことにより、生涯にわたる健康づくりから高齢期における介護予防へスムーズに移行できるよう努めます。

##### ■ 認知症施策の推進

町民が認知症に対する正しい知識と対応方法を身につけられるよう取り組みます。

認知症の人の行方がわからなくなった際に早期発見・保護するための見守り体制の強化に努めます。

##### ■ 生涯学習・スポーツ活動の推進

町民ニーズをとらえた生涯学習講座や講演会を開催するとともに、図書に触れる機会を提供します。

スポーツ協会と連携し、様々なスポーツの参加機会の提供により、スポーツに親しむ環境づくりを推進します。



町高年クラブ連合会 健康ウォーキング大会

### 若者・働く世代

#### 若者の結婚・出産・子育て等の希望をかなえる環境づくりを進めるとともに、こども・若者の移住・定住につながる施策の強化

##### ■ 若者への支援

結婚・子育てや自立に向けた希望がかなえられるよう、若者への支援に取り組みます。  
社会に出た後も、一旦仕事を離れて学び直したり、学び直しながら仕事を続けられる環境づくりに努めます。

##### ■ 移住・定住の促進

町内や近隣市町の就職情報について発信し、若者をターゲットとした移住・定住を促進します。

##### ■ 農業生産体制の充実

オーガニックビレッジ宣言に基づき、特色ある農業のため、地域ぐるみで有機農業に取り組みます。

##### ■ 企業誘致や起業・創業支援

本町の特性を生かした企業誘致や、起業・創業を希望する方への支援を行います。  
農福連携の推進により、障がい者の就労機会を拡大し、農業の人手確保と作業分担を最適化します。



移住相談会

### すべての町民

#### 住民の誰もが安全・安心に暮らせる地域づくりを進めます

##### ■ 地域での移動手段の確保

各地区の特性に応じて地域公共交通網を再編し、コミュニティバスや乗合タクシーの利便性向上を図ります。

##### ■ 防災・減災対策の推進

災害情報の迅速な発信に対応するため、多様な手段により円滑な情報伝達を行います。

##### ■ 空き家対策の推進

空き家所有者に対して適正管理を周知するとともに、マッチングやリノベーションへの支援を通じて、空き家の利活用を促進します。

##### ■ 多文化共生の推進

多様な文化や背景の外国人の増加を踏まえ、地域で住民同士が安心して暮らせるよう、やさしい日本語の活用と対話機会の創出により相互理解の促進に取り組みます。

##### ■ デジタル技術活用の推進

オンライン申請やキャッシュレス決済の推進により、住民サービスの利便性向上と窓口業務の効率化を図ります。



コミュニティバス愛のり号

◆数値目標◆



プロジェクト	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)
1. 幸せて笑顔あふれる まちづくり	出生数	37人	43人
	合計特殊出生率	0.91	1.3
	健康ポイント事業新規登録者数	150人	750人
	認知症サポーター養成数(延べ)	2,976人	3,100人
2. 学びと歴史・文化を 未来へつなぐまちづ くり	学校運営協議会設置校割合	75%	100%
	スポーツセンター利用者数	142,213人	145,000人
	在留外国人数	256人	300人
3. にぎわいと活力ある まちづくり	農産品販売額	98億円	100億円
	ひょうご安心ブランド認証農産物数	8件	10件
	就農者数(認定農業者、新規就農者、 集落営農組織、農業法人等)	46	50
	新規事業所数	8件/年	10件/年
	空き工場等バンク利用件数(延べ)	16件	20件
4. 安全・安心で、自然 と共生し、豊かに暮 らせるまちづくり	バス等公共交通利用者数	30,754人/年	32,000人/年
	空き家バンク利用件数	年間7件	年間10件
5. 町民と共に創る持続 可能なまちづくり	転入者が転出者を上回った人数	△169人/年	10人/年
	各種住宅取得支援制度利用件数	29件/年	30件/年
	町公式ホームページ・アクセス件数	897,977件/年	1,000,000件/年
	行政手続オンライン化件数	100件	580件

この冊子は「上郡町第6次総合計画」の概要をまとめたダイジェスト版です。  
より詳しい施策の内容や数値目標などを記載した「総合計画(基本構想・基本計画)」の  
全文は、上郡町の公式ホームページでご覧いただけます。

令和8年3月

編集・発行 上郡町

〒678-1292 兵庫県赤穂郡上郡町大持278番地

TEL 0791-52-1111 FAX 0791-52-5172

公式ホームページ <https://www.town.kamigori.hyogo.jp/>

